

大阪府立松原高等学校 自立支援コースの紹介



I 共生の歩み

1978年、松原高校では、5期生の時から障がいのある生徒の受け入れの取り組みがスタートしました。「障がいのある仲間とともに松原高校へ行くんだ!」という地元中学生達が2万人の署名行動を起こし、「準高生」という交流生としての登校が実現しました。これ以降も「準高生」の取り組みは、仲間たちの熱い思いと行動に支えられて受け継がれ発展しました。そして、その取り組みの上に、2006年度より、知的障がいのある生徒受け入れの制度<自立支援コース>が実現しました。

II 「知的障がい生徒自立支援コース」選抜について

- ☆ 募集定員:各学年4名(2018年度より1名増員)
- ☆ 志願条件:療育手帳を所持する者、または公的機関により知的障がいを有すると判定された者。
在籍中学校長の推薦を受けた者。ともに学ぼうという意欲のある者。
- ☆ 選考:自己申告書等提出書類に基づいて個人面接を行います。原則、保護者に同伴して頂きます。

III 本校の自立支援コースの基本方針・特徴

- ☆ 障がいのある生徒も当たり前で生活してゆける インクルーシブな学校づくり
- ☆ 「ともに生きる」生徒が互いに支え合い 学び合う関係を育てる

本校では、各学年の支援生を中心に据えて一緒に交流活動をする「仲間の会」があります。まず触れ合うことで互いを受けとめてゆき、困ったときは一緒に悩み課題を共有することを大切にしています。新入生歓迎会・お別れ会、お昼のランチ会、夏休みの合宿、地域でのボランティア活動や小中学校との交流など、様々な活動を通して学校内にとどまらず地域にも交流の輪を広げています。



III 学校生活のスタイル

- ☆ クラスに所属します。複数のクラス担任と学年の自立支援コーディネーターが中心となって学校生活全般をサポートします。行事もクラブもすべてみんなと一緒に参加・活動します
- ☆ 授業のスタイルは、
① 教室で受けるサポートなしの授業 ② 教室で受けるサポートありの授業 ③ 個別の授業(支援生小集団での合同授業もあり)。 入り込みの授業の場合、学習サポーターが必要に応じたサポートをしますが、目標は支援生が自分からヘルプメッセージを出し、周囲の生徒との関係性を作れるようになることを目指しています。

あなたの ☆やりたい☆ を応援します！！

1年生時間割の例 (○は入り込みサポートありの授業)

	月	火	水	木	金
1	言語文化	音楽Ⅰ	基礎数学Ⅰ	体育	文書デザインⅠ
	クラス	選択授業	個別	クラス ○	選択授業 ○
2	科学と人間生活	文書デザインⅠ	基礎英語コミュニケーションⅠ	基礎理科	音楽Ⅰ
	クラス	選択授業 ○	個別	個別	選択授業
3	ハローサイエンス	保健	LHR	プログラミング	産業社会と人間
	選択授業 ○	クラス	クラス	選択授業 ○	クラス ○
4	ハローサイエンス	基礎英語コミュニケーションⅠ	LHR	プログラミング	産業社会と人間
	選択授業 ○	個別	クラス	選択授業 ○	クラス ○
5	家庭総合	言語文化	基礎現代の国語	基礎学習	体育
	クラス	クラス	個別	個別	クラス ○
6	家庭総合	体育	科学と人間生活	基礎現代の国語	基礎数学Ⅰ
	クラス	クラス ○	クラス	クラス	個別

行事の紹介～ワクワクがいっぱい！ 出会い・体験・発見！～



4月 対面式
仲間の応援で自己紹介



4月 1年HR合宿
コミュニケーションワークで 仲間づくり



5月 文化祭
仲間の会でゲームコーナー



10月 体育祭
仲間の会リレーで活動アピール！



12月 仲間の会 餅つき大会
みんなで協力しておもちつき



職場実習



職業訓練校体験



クラブ活動～美術部～



大阪府立松原高校 自立支援コースの特色

やる気！ 元気！ 活気！

ともに学ぶ

授業も特別活動も“一緒に・・・”がモットーです！
自分からクラスの仲間やサポートの先生に
“ヘルプメッセージ”を送る
ことを
大切にしています。



ともに育つ

“支援生を中心にすえて”を大切にしています。
ふれ合い、受け止めてくれる仲間があなたを応援します。
クラスや仲間の会は、支援生への理解を深め輪を広げ
ながらともに成長してゆく場となります。



自分で決める

“自己決定”をいろんな場面で大切にしています。選
択科目などやる気と特技を大切に
自分で考えて決めてゆきます。



育つチカラ

仲間とのかかわりの中で
“生きるチカラ”が
育まれてゆきます。社会的
な自立に向けて、
2年生から職場実習にチャ
レンジします。